

器具の取り外し方法

必ず主電源を切って、本体やLED光源部が冷えてから行ってください。

■カバーのはずしかた

カバーを左(反時計回り)に回してください。
(パチンとロックが解除された音がします。)

カバーは無理にはずさないでください。
カバーの割れ、落下によるけがの原因となります。

■電源のはずしかた

下図のように矢印部分を押しながらアダプタ側コネクタを引き抜いてください。

アダプタ側コネクタ

押す

注意

本体側コネクタのツメを押さえないでください。

■本体のはずしかた

本体を押さえながら本体中央アダプタのレバーをへ矢印方向引いてください。

■アダプタのはずしかた

アダプタの赤いボタンを押しながら左(反時計回り)に回してください。

注意

■ボタンを押さずにアダプタを回すと引掛シーリングが破損します。
■壁スイッチ(主電源)がONの状態では器具をはずすと感震センサが動作し、点灯および電子アラーム音が鳴ることがあります。(故障ではありません。)

お手入れのしかた

お手入れの際は、安全のため電源を切ってしばらくしてから行ってください。

・点灯中・消灯直後はLED光源及び本体が熱いので手や肌などを、ふれないでください。

・ベンジン、シンナーなど揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質の原因になります。

・器具全体に水をかけたり、水の中につけて洗うことは絶対にさけてください。

・汚れを取るときは中性洗剤を含ませた柔らかい布をよく絞って拭き取り、乾いたら柔らかい布で仕上げてください。

故障？と思われたら

ご使用中に異常が生じたときは下表を参考にお調べください。
下表以外の故障と思われる時は、電源を切り、お近くの弊社製品取扱店やお客様相談室にご相談ください。
なお連絡されるときは器具の形名及びお問い合わせ時期をお忘れなくお知らせください。
形名はフレンジカパー表面の器具ラベルに表示しています。

症 状	主 な 原 因	処 置 方 法
点灯しない	コネクタが正常に差し込まれていない。	9ページ「電源を接続する」を参照。
	壁スイッチ(主電源)が「OFF」になっている。	壁スイッチ(主電源)を「ON」にしてください。
	リモコンで消灯した後、壁スイッチ(主電源)を切り、2秒以上経ってから再度、壁スイッチ(主電源)を「ON」にしている。(消灯状態をメモリーしている)	壁スイッチコントロール機能を使用するか、リモコンのボタンを操作して点灯してください。
リモコンが効かない (例：照明器具を操作できない、各種設定ができない、留守タイマー/おやすみタイマーが動作しない)	壁スイッチ(主電源)が「OFF」になっている。	壁スイッチ(主電源)を「ON」にしてください。
	リモコンの電池が少なくなっている。	新しいアルカリ電池に交換してください。(2個)
	リモコンの電池の向き(＋)が間違っている。	4ページ「リモコンの電池の入れかた」を参照。
	リモコンの電池に充電式の電池(ニッカド電池など)を使用している。	新しいアルカリ電池に交換してください。(2個)
	リモコンと器具本体のチャンネルが合っていない。	9ページ「チャンネルを設定する」を参照。
勝手に点灯・消灯する	他の家電製品(液晶テレビ)などからのノイズがリモコン信号に干渉している。	他の家電製品(液晶テレビ)などの電源を切ってください。
	リモコンの信号が照明器具本体に届かない場所にリモコンを設置している。	14ページ「重要ポイント」を参照。
	「留守タイマー」または「おやすみタイマー」に設定している。	リモコンの表示を確認のうえ、設定を解除してください。
勝手に明るさや点灯モードが変化する	感震センサが動作して自動点灯している。	リモコンを操作して感震センサの動作を解除してください。
	デモモードに設定している。	13ページ「デモモードの解除方法」を参照。
勝手に暗くなっていく	「おやすみタイマー」に設定している。	14ページ「おやすみタイマーのフェードアウト機能」を参照。
	リモコンの電池が少なくなっている。	新しいアルカリ電池に交換してください。(2個)
リモコンの液晶画面が表示されない	リモコンの電池の向き(＋)が間違っている。	4ページ「リモコンの電池の入れかた」を参照。
	リモコンの電池に充電式の電池(ニッカド電池など)を使用している。	新しいアルカリ電池に交換してください。(2個)
	リモコンでホタルック機能を「入」に設定していない	3ページ「リモコン消灯時のホタルック機能「入／切」の設定方法」を参照。
ホタルックが点灯しない	リモコンでホタルック機能を「切」に設定していない	3ページ「リモコン消灯時のホタルック機能「入／切」の設定方法」を参照。
	リモコンでホタルック機能を「切」に設定しても、壁スイッチ(主電源)を切るとホタルックは強制点灯します。	製品の仕様のため、変更はできません。
	近隣の工事や交通状況、上階の振動、器具取り付け、取り外し時など地震以外の揺れを感知した場合も、感震センサが動作することがあります。	リモコンを操作して感知状態を解除する。 または震度感知レベルを「強モード」または感震センサを「切」にしてください。
地震が発生していないのに感震センサが動作して点灯、アラームが鳴る	生活環境下の大きな音(声、楽器、テレビやステレオなどの家電製品、ペットの鳴き声、等)による振動を感知して、感震センサが動作することがあります。	

HotaluX 照明器具

LEDシーリングライト

保証書添付 保 存 用 取扱説明書

372-609 21ワイドトリセツ2 (HE4-エキショウ)HK ①

●このたびは弊社製品をお買い上げくださいます。ありがとうございます。

●取り付けの前には必ずこの取扱説明書を最後まで読み、正しく施工してください。

●取付工事が終わりましたら、この説明書はご使用になるお客様が保管してください。

注意図記号とシグナル用語の意味について

警告

誤った取扱をしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるものです。

注意

誤った取扱をしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくものです。

この記号は、注意(警告)をうながす内容があることを知らせるものです。

この記号は、禁止の行為であることを知らせるものです。

この記号は、行為をお守りいただく内容を知らせるものです。

器具取付時の安全上の注意

ご使用の前に、この「器具取付時の安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

警告

器具の取り付けは、取扱説明書により確実にに取り付けてください。取り付けに不備があると、器具の落下・感電・火災の原因となります。

本照明器具に、他のアダプタを使用しない。火災や感電・落下によるケガの原因となることがあります。付属アダプタは本照明器具専用になります。付属のアダプタを他の器具に使用しない。

注意

器具の取り付けは、重量が耐える所で取扱説明書にしたがい確実に行ってください。取付に不備があると落下し、感電・けがの原因となります。

電源線接続の際は、「器具の取付方法」に従って確実に行ってください。接続が不完全な場合は、接続不良による発熱、火災の原因となります。

風呂場など、水や湿気の多い場所で使用しないでください。漏電し、火災・感電の原因となります。

注意

器具取り付けの電源工事は、必ず工事店、電気店(有資格者)に依頼してください。一般の方の電源工事は、法律で禁止されています。

表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。感電・火災の原因となることがあります。

天井の取付面の構造や材質により、取付面が変色等を起こす場合があります。

この器具は屋内用です。5℃～35℃の範囲内で使用してください。屋外で使用しないでください。屋外で使用すると、漏電し、感電・火災の原因となることがあります。

この器具は非防水です。湿気、水気のあるところで使用しないでください。湿気、水気のあるところで使用すると、感電・火災の原因となることがあります。

使用時の安全上の注意

ご使用の前に、この「使用時の安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

警告

お手入れの際には、必ず電源を切ってください。電源を切らないと、感電の原因となることがあります。

お手入れなどによりカバー、本体を外し、再度取り付ける場合は、取扱説明書にしたがって確実に取り付けてください。不完全に取り付けると、落下してケガ・物損の原因となることがあります。

万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切ってください。異常状態がおさまったことを確認して電気店に修理を依頼してください。

注意

LED光源にはLEDを搭載しています。安全上、LED光源を直視することはおやめください。

布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしないでください。火災の原因となります。

部品の追加改造は絶対にしないでください。火災・感電の原因となります。

器具の隙間や放熱穴に、金属類やもえやすいものを差し込まないでください。火災・感電の原因となります。

壁付調光器やセンサースイッチのある回路では使用できません。

照明器具が故障又は誤動作することがあります。

お手入れの際は、水洗いはしないでください。火災・感電の原因となります。

明るく安全に使用していただくために、定期的に清掃、点検してください。不具合がありましたら、そのまま使用しないで工事店、電気店に修理を依頼してください。

お手入れの際は電源を切って、しばらくしてから行ってください。点灯中・消灯直後はLED光源及び本体が熱いので手や肌などを、ふれないでください。LED光源及び本体周辺を触ると、やけどの原因となることがあります。

LED光源にはバラツキがあるため、同一形名商品、同一適用畳数商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。

LED光源ユニットは、通常のランプのようにお客様自身での交換はできません。

万一、カバーなどが破損した場合、ケガの原因となることがありますので、破損部分に直接手や肌などをふれないでください。

暖房器具、ガス器具等の真上やその付近等の温度の高い場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。(この製品は5℃～35℃の温度範囲で使用するよう設計してあります。)

照射距離が近い場合や照射面等によって光ムラが発生することがありますがご了承ください。

株式会社ホタルクス 〒105-0014 東京都港区芝1-7-17 www.hotalux.com

製品・お取り扱いなどのご相談 受付時間 平日 9:00-12:00 13:00-17:30

お客様相談室 ☎ 0120-52-3205 FAX. 0748-61-2330 (土曜、日曜、祝日、年末年始および当社指定の定休日を除く)

修理・アフターサービスのお問い合わせ 受付時間 平日 9:00-17:30

修理受付センター ☎ 0120-334-031 ☎0748-61-2361 (フリーダイヤルが利用できない場合) (土曜、日曜、祝日、年末年始および当社指定の定休日を除く)

16

1

各部の名称

●一部省略抽象化した共通部品図です。
機種によってカバー形状が異なります。

付属品

アダプタ
(1個)

コネクタ

単4形乾電池
(アルカリ2本)
※テスト用

液晶リモコン (1個)

リモコンホルダー
(1個)

※液晶リモコンの品名(RE****)は、
裏面のラベルに記載しています。

コネクタ拡大図

本体
(外径約500mm)

LED主光源

カバー取付金具

器具ラベル

常夜灯&ホタルックユニット
(リモコン信号受光部内蔵)

※形式を確認して、添付の保証書に記入してください。

カバー

定 格						
量 数	形 名	定格電圧	定格周波数	消費電力 ※各点灯モード(色)の明るさ10段階時		
～8畳	HLDCKB****	AC100V	50Hz / 60Hz	アクティブ(昼光色)	30.5W	常夜灯のみ点灯時 約2W リモコンOFF(待機)時 1W以下
	SLDCKB****			ナチュラル(昼白色)	28.6W	
				リラックス(電球色)	26.5W	
～12畳	HLDCKD****	AC100V	50Hz / 60Hz	アクティブ(昼光色)	41W	
	SLDCKD****			ナチュラル(昼白色)	38.7W	
				リラックス(電球色)	38W	
～14畳	HLDCKE****	AC100V	50Hz / 60Hz	アクティブ(昼光色)	46.5W	
	SLDCKE****			ナチュラル(昼白色)	43.5W	
				リラックス(電球色)	44W	
※LED照明器具の光源の設計寿命は、40000時間です。 ※光源寿命とは点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間です。 ※40000時間は、寿命を保証するものではありません。						

留守タイマーの時刻設定方法

1. 設定をはじめる。

① 留守ボタンをマークが点滅表示するまで長押しします。

2. 設定するパターンを選択する。マーク またはマーク を選択します。(選択したパターンのマークが点滅します。)

② ON/OFFボタン を押してパターンの選択完了です。
(マークが表示されて「AM」または「PM」または「-:-」が点滅します。)

3. タイマー「入」の時刻を設定する。マーク

① 明るく/暗くボタン を押して「AM」または「PM」または「-:-」を選択します。
(※「-:-」はタイマー設定しない場合に選択します。)

② ON/OFFボタン を押すと時刻表示が点滅します。

③ 明るく/暗くボタン を押してタイマー「入」時刻を設定します。
(ボタン短押しで1分単位、長押しで10分単位で切り替わります。)

④ ON/OFFボタン を押してタイマー「入」時刻の設定が完了です。
(マークが表示されて「AM」または「PM」または「-:-」が点滅します。)

4. タイマー「切」の時刻を設定する。マーク

① 明るく/暗くボタン を押して「AM」または「PM」または「-:-」を選択します。
(※「-:-」はタイマー設定しない場合に選択します。)

② ON/OFFボタン を押すと時刻表示が点滅します。

③ 明るく/暗くボタン を押してタイマー「切」時刻を設定します。
(ボタン短押しで1分単位、長押しで10分単位で切り替わります。)

④ ON/OFFボタン を押してタイマー「切」時刻の設定が完了です。

5. 設定完了

① 現在時刻の表示に戻り、設定したパターンマークマーク またはマーク が表示されて設定完了です。

設定を間違えた場合 途中で操作を取り消すことができないため、設定を完了させてから再設定してください。

電池交換した場合 設定された留守タイマーはリセットされます。再設定してください。

●注1：タイマー設定なし「-:-」の場合も設定したパターンマークは表示されます。
●注2：タイマー「入」「切」の時刻は同じ時刻に設定できません。(Err表示)
●注3：タイマー「入」で点灯するLED主光源は、「消灯または常夜灯にする直前の点灯モード(色)と明るさ」で点灯します。
●注4：壁スイッチ(主電源)をOFFにした場合は、留守タイマーは動作しません。

2

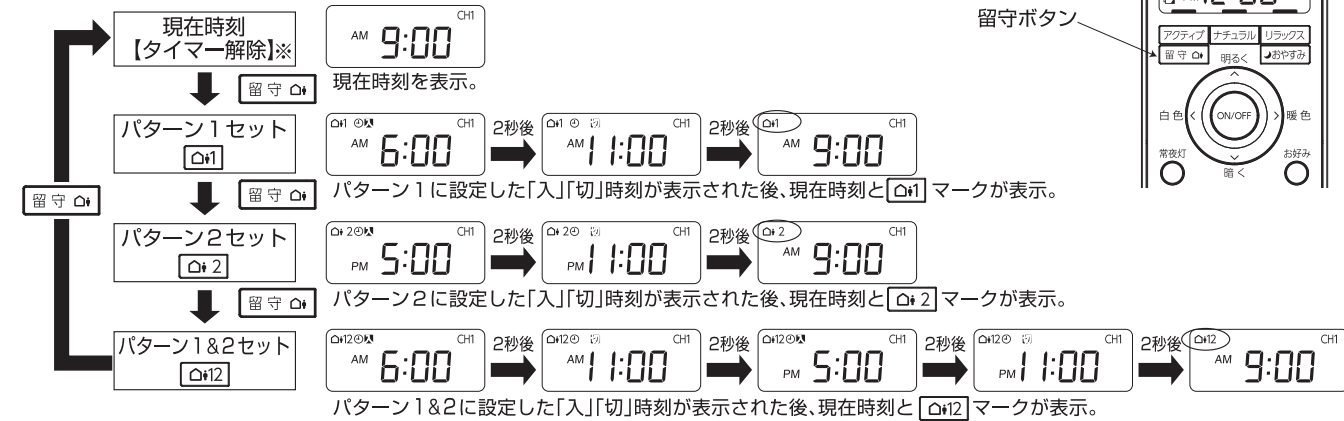
15

留守タイマー機能

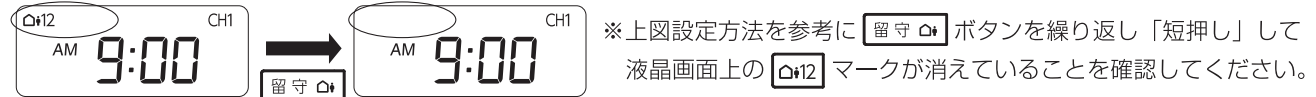
- お好みの時間にLED主光源を自動で点灯・消灯することができます。(2つのパターンで設定が可能です。)
- 留守中などでも、毎日同じ時間に自動で点灯・消灯することができ、防犯効果を高めます。
- お目覚めにあわせて自動点灯、就寝時の消し忘れ防止に自動消灯など、使い方はいろいろ。

留守タイマーのセット／解除方法

- 留守ボタン **留守** を繰り返し「短押し」することで、設定・解除できます。



※【タイマー解除】について



おやすみタイマー機能

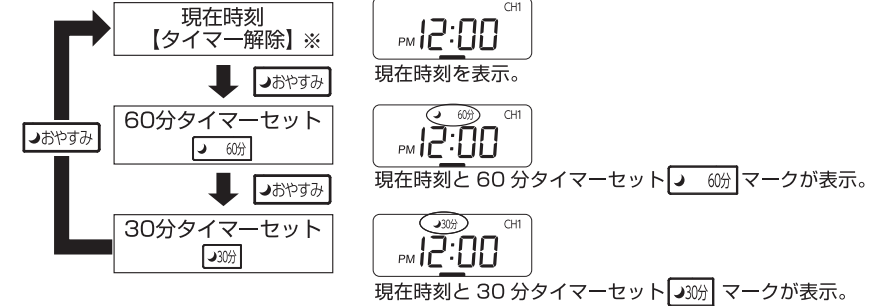
- 60分後、または30分後に主光源を自動で消灯(フェードアウト)することができます。

フェードアウト機能
(※)

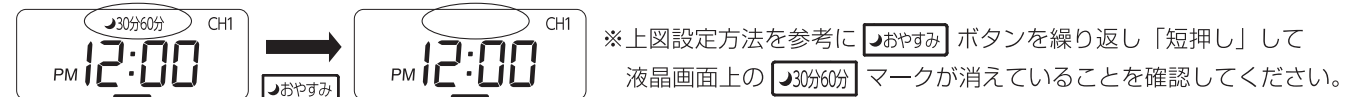
主光源が消灯する約 10 分前から徐々に暗くなります。

おやすみタイマーのセット／解除方法

- おやすみボタン **おやすみ** を繰り返し「短押し」することで、設定・解除できます。



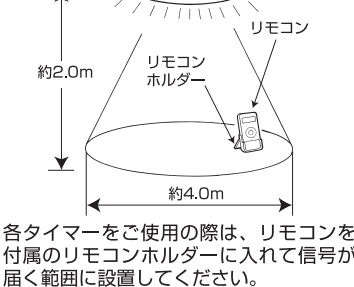
※【タイマー解除】について



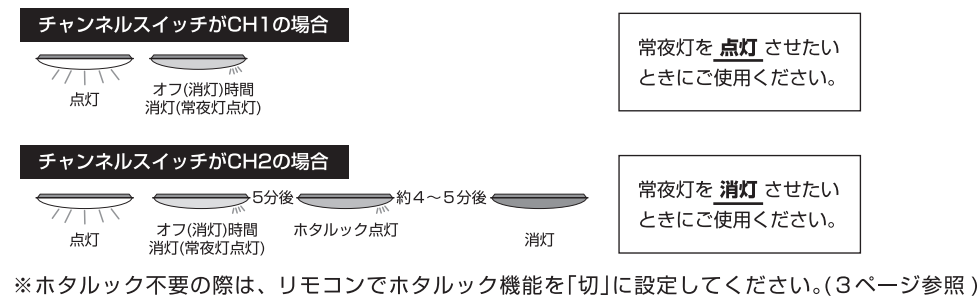
※フェードアウト機能は解除できません。

重要ポイント

※下図は目安です。



各タイマーで消灯させる時、常夜灯の点灯/不点灯をチャンネルスイッチによって選ぶことができます。

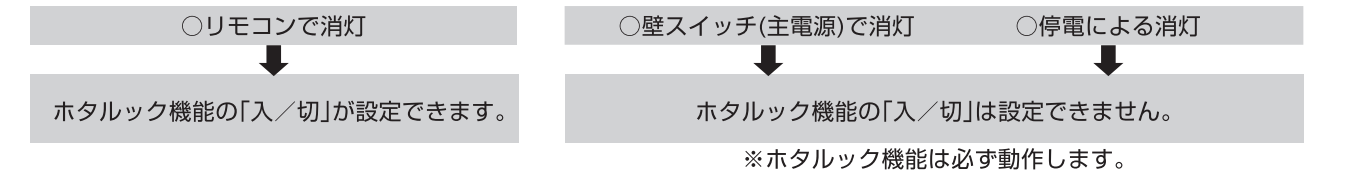


機能紹介

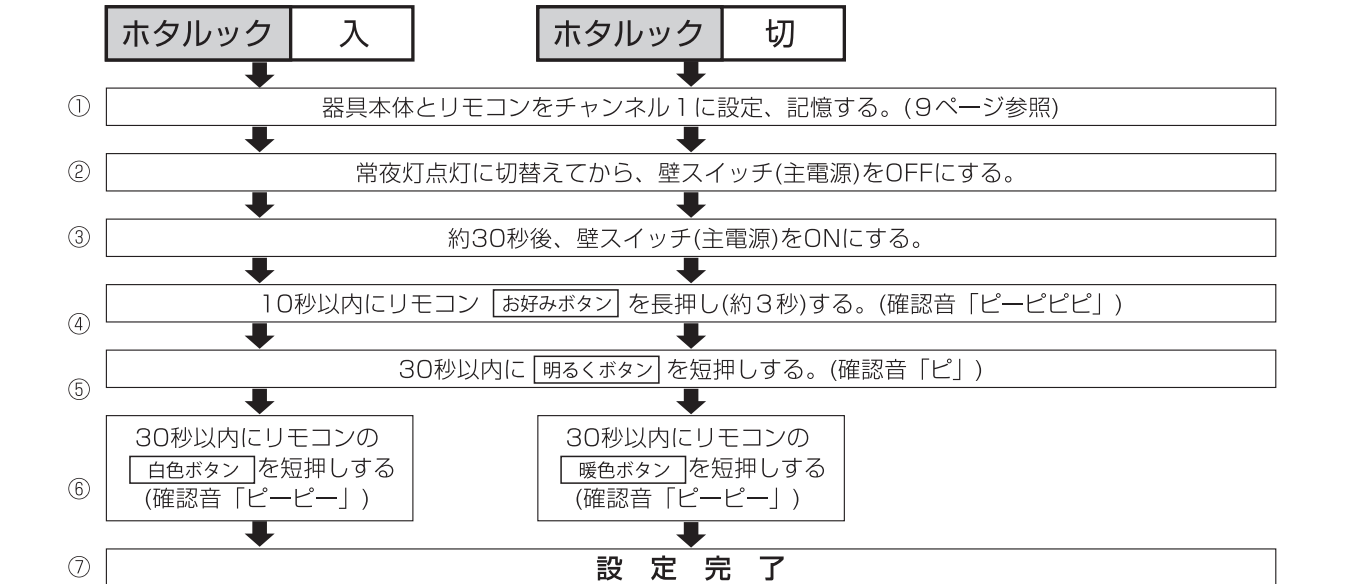
ホタルック機能 (3ページ)	消灯した後、真っ暗にならず、淡いブルーグリーンの光でお部屋をほのかに照らします。(約4～5分間)	感震センサ機能 (10,11ページ)	大きな揺れ、振動(震度4以上)を感知すると、LED主光源が点灯し、電子アラーム音が鳴ります。
リモコン機能 (4ページ)	リモコン送信機で各種設定や操作ができます。	お好み機能 (13ページ)	お好みの明るさ・点灯モード(色)でLED主光源を記憶、点灯することができます。
壁スイッチコントロール機能 (7ページ)	壁スイッチの操作で点灯状態を切り替えることができます。	おやすみタイマー機能 (14ページ)	リモコン送信機のワンボタン操作で30分後又は60分後にLED主光源を自動で消灯させることができます。(フェードアウト機能つき)
停電復帰機能 (7ページ)	停電復帰後は、停電(消灯)する直前の点灯状態に戻ります。 ※壁スイッチ(主電源)をOFF→ONした時も機能します。	留守タイマー機能 (14～15ページ)	お好きな時間にLED主光源を自動で点灯、消灯できます。

ホタルック機能

- ホタルック機能は、下記いずれかの方法で、主光源または常夜灯を消灯した後に、自動的に動作し、淡いブルーグリーンの光(※)でお部屋をほかに照らします。



リモコン消灯時のホタルック機能「入／切」の設定方法

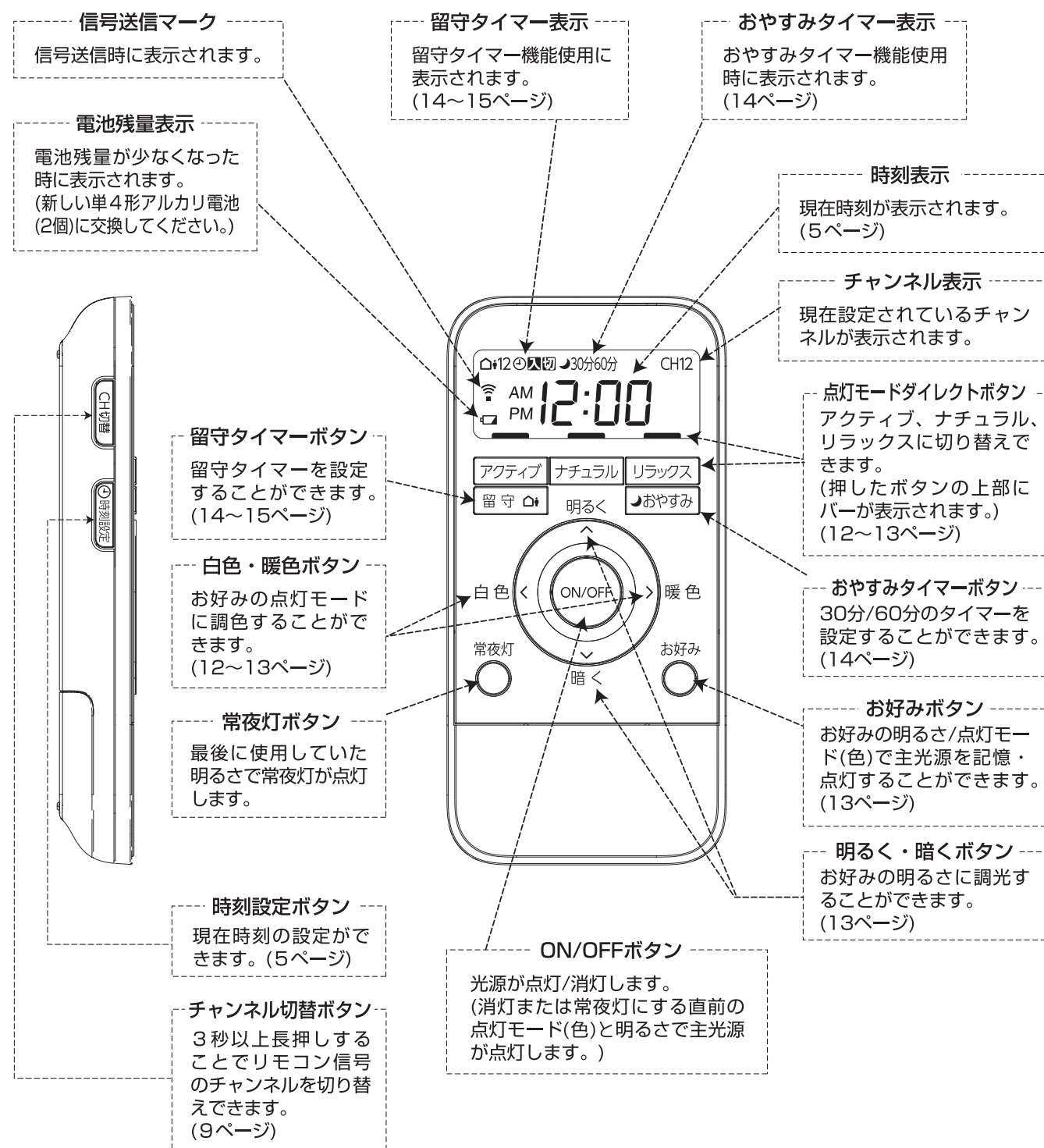


※上記と異なる操作をした場合、エラー音「ピーー」が鳴り、設定は変更されません。
※チャンネル2では設定できません。

ホタルック機能に関する注意

- ・ホタルック機能の設定は、壁スイッチ(主電源)をONにしてリモコンで操作してください。
- ・ホタルックは回路内に充電された電気を利用して、消灯後にLEDを自動点灯させていますので、常時、壁スイッチ(主電源)をONにしてご使用ください。
- ・ホタルック機能を「切」に設定しても、照明器具を壁スイッチ(主電源)で消灯した場合や停電した場合は、ホタルックは自動点灯します。
- ・ホタルックはリモコンや壁スイッチで点灯、消灯することはできません。

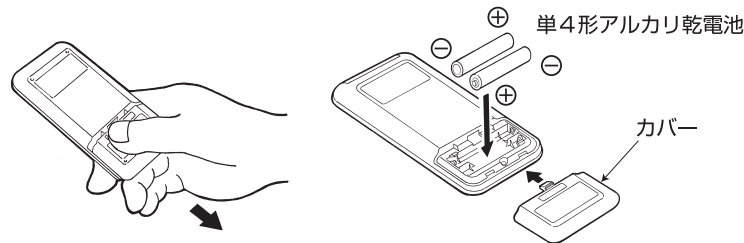
リモコンの名称



リモコンの電池の入れかた

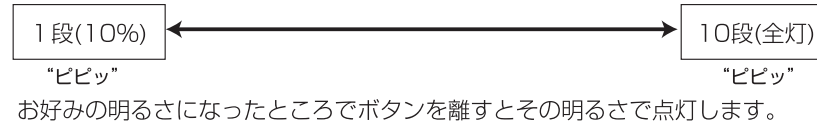
1. リモコン裏面の電池カバーを軽く押しながら手前に引いて外してください。
2. 単4形アルカリ乾電池2本を、右図のように⊕ ⊖の向きを合わせてセットする。
3. 電池カバーをスライドさせ、カバーを閉じる。

※カバーをななめに挿入して無理に押さえたりすると、カバーのツメが破損する原因となります。

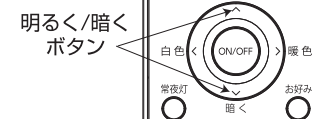
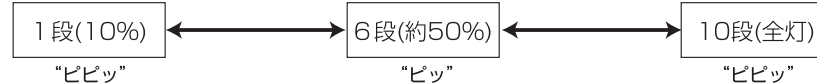


リモコン機能2 (明るさを切り替えたいとき)

- 明るく/暗くボタンを長押しすると連続で明るさが調光します。(確認音が鳴ります。)



- 明るく/暗くボタンを短押しすると1段ずつ明るさが調光します。(確認音が鳴ります。)



※常夜灯も調光することができます。

- 明るく/暗くボタンを長押しすると連続で明るさが調光します。(確認音が鳴ります。)



- 明るく/暗くボタンを短押しすると1段ずつで明るさが調光します。(確認音が鳴ります。)



注) 壁スイッチ(主電源)がOFFの場合、リモコンでの操作はできません。ONにしてから、リモコンで操作を行ってください。

お好み機能

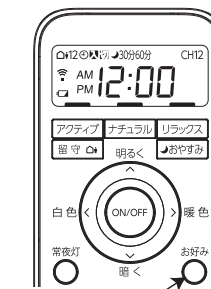
- お好みボタンを押すと、好みの明るさ/点灯モード(色)で主光源を記憶・点灯させることができます。

- 明るさ/点灯モード(色)を記憶させる方法



- 記憶した明るさ/点灯モード(色)で点灯させたい場合

お好みボタンを短押しする。



お好みボタン

デモモードの解除方法

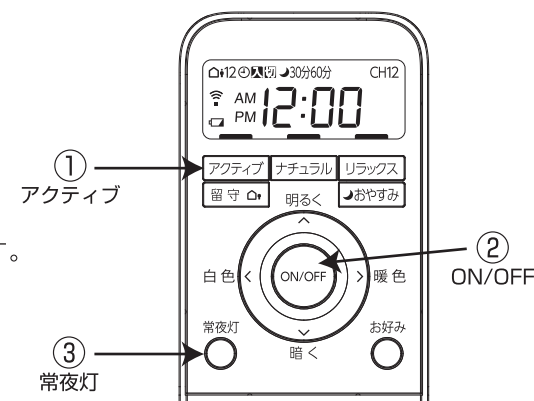
LED光源ユニットが調光・点灯モード(色)の切り替えを繰り返す場合は、デモモード状態になっています。(故障ではありません。)

下記の手順でデモモードを解除してください。

1. 器具本体とリモコンをチャンネル2に設定、記憶する。※1 (9ページ参照)
2. 常夜灯点灯状態に切替えてから、壁スイッチ(主電源)をOFFにする。
3. 約30秒後、壁スイッチ(主電源)をONにする。
4. 5秒以内にリモコンボタンを右図の①→②→③の順番に1回ずつ押す。
5. 確認音「ピピピッ」が鳴り、デモモードが解除されます。※2

※1：リモコン(CH1)では解除できません。

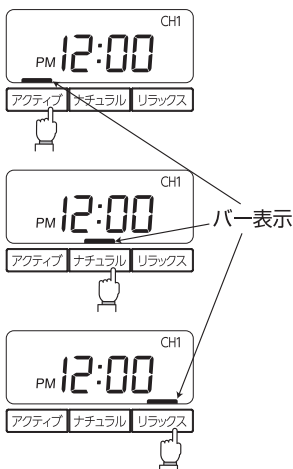
※2：確認音「ピピピッ」が鳴らない場合は、解除できていません。再度、デモモードの解除を行ってください。



リモコン機能1 (点灯モード(色)を切り替えたいとき)

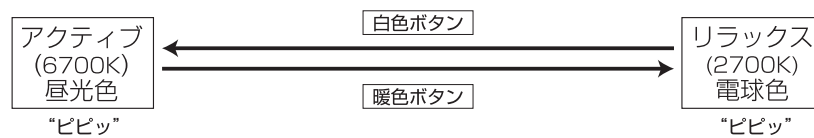
ダイレクトボタン調色 (ワンボタンで点灯モード(色)「3段階」の切り替えができます。)

- **アクティブボタン** を押すと、アクティブモード(昼光色)の全灯(10段)で点灯します。
(アクティブボタンの上にバーが表示されます。)
- **ナチュラルボタン** を押すと、ナチュラルモード(昼白色)の全灯(10段)で点灯します。
(ナチュラルボタンの上にバーが表示されます。)
- **リラックスボタン** を押すと、リラックスモード(電球色)の全灯(10段)で点灯します。
(リラックスボタンの上にバーが表示されます。)

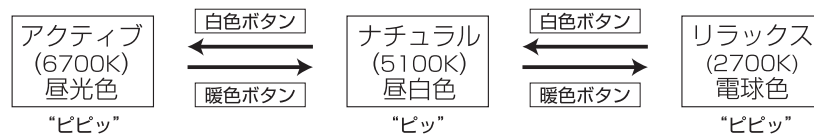


白色・暖色ボタン調色 (好みの点灯モード(色)「21段階」に切り替えができます。)

- 白色・暖色ボタンを長押しすると連続で点灯モード(色)が切り替わります。(確認音が鳴ります。)

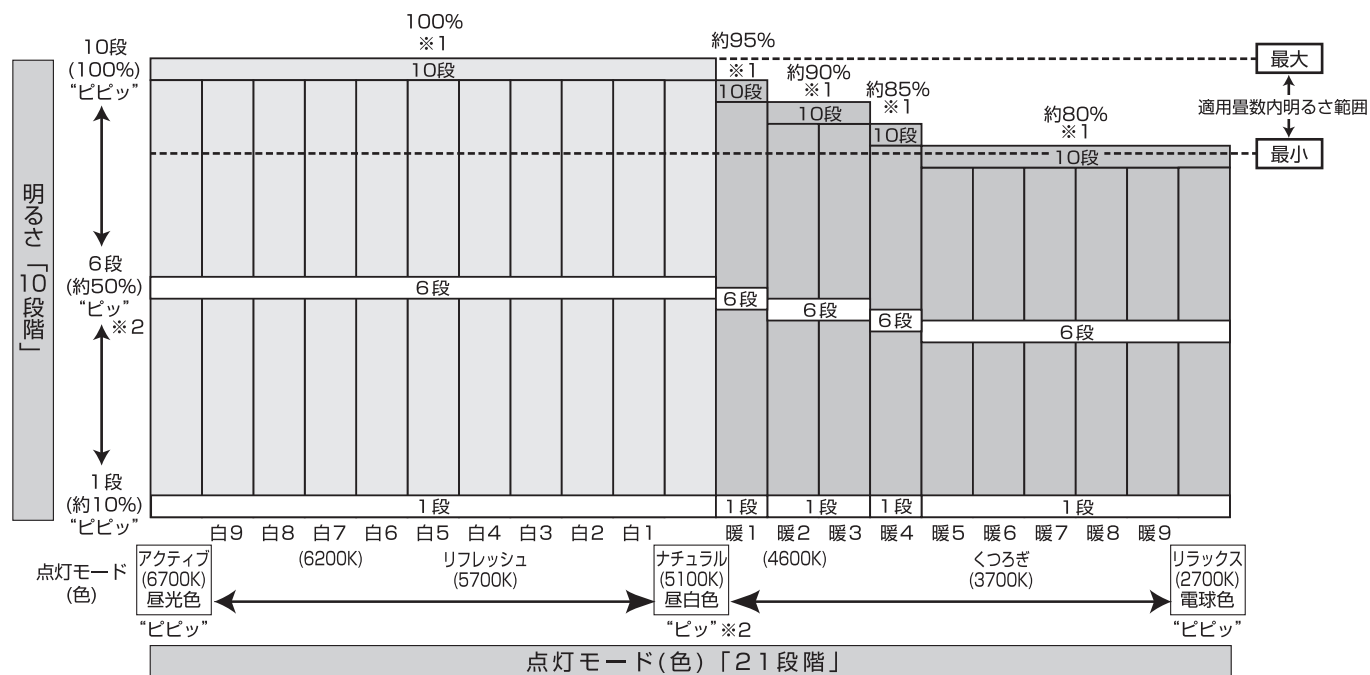


- 白色・暖色ボタンを短押しすると1段ずつ点灯モード(色)が切り替わります。(確認音が鳴ります。)



注) 壁スイッチ(主電源)がOFFの場合、リモコンでの操作はできません。ONにしてから、リモコンで操作を行ってください。

各点灯モード(色)における10段(全灯)点灯時の明るさイメージ



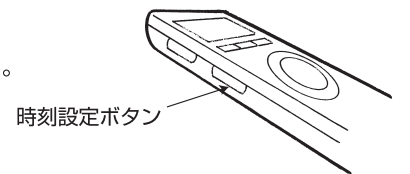
※1: 100%時と相対比較した参考数値となります。(機種により多少バラツキがございます。)

※2: 長押し操作では、明るさ(6段)、および点灯モード(ナチュラル)の確認音は鳴りません。

時刻の設定方法

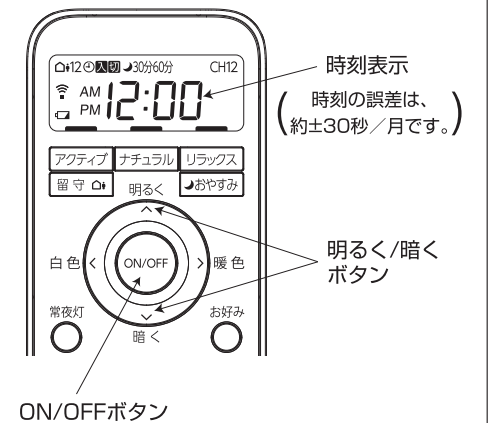
1. 設定をはじめる。

- ① **時刻設定ボタン** を「AM」または「PM」が点滅するまで長押しします。



2. 現在時刻を設定する。

- ① **明るく/暗くボタン** を押して、AM/PMを選択します。
- ② **ON/OFFボタン** を押すと、時刻表示が点滅します。
- ③ **明るく/暗くボタン** を押して、現在時刻を設定します。
(ボタン短押しで1分単位、長押しで10分単位で切り替わります。)
- ④ **ON/OFFボタン** を押す。



3. 設定完了

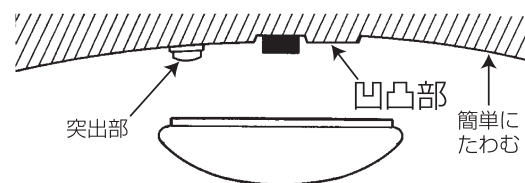
- ① 時刻表示の点滅が停止して、**設定完了**です。

設定を間違えた場合 途中で操作を取り消すことができないため、設定を完了させてから再設定してください。

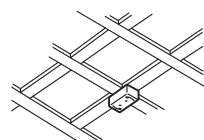
電池交換した場合 設定された時刻表示はリセットされます。再設定してください。

メモ

取り付けできない天井



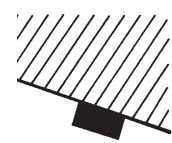
突出部のある天井・凹凸のある天井・簡単にたわむ弱い天井



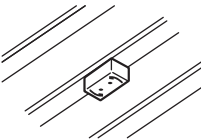
格子天井



変形天井



傾斜天井



竿縁天井

当社LEDシーリングライトは、別売りの竿縁・傾斜天井用アダプタ2 (699-8497) を使用していただくことで竿縁天井や傾斜天井に取り付けることができます。

※取付方法については、竿縁・傾斜天井用アダプタ2 (別売)の説明書をお読みください。

注) 木ネジ2本で取り付けるため、天井に穴があきます。

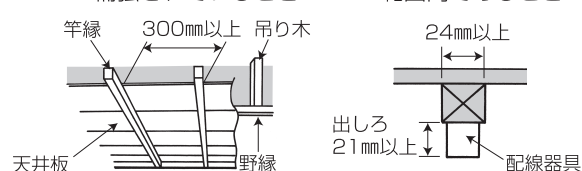
要チェック

必ず守る

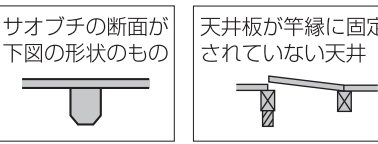
竿縁天井・傾斜天井に器具を取り付ける場合は、取付場所を確認してください。

竿縁天井に取り付ける場合

- 竿縁が天井裏で補強されていること
- 竿縁の幅が下記の範囲内であること



注) 下記の竿縁天井には、取り付けできません。



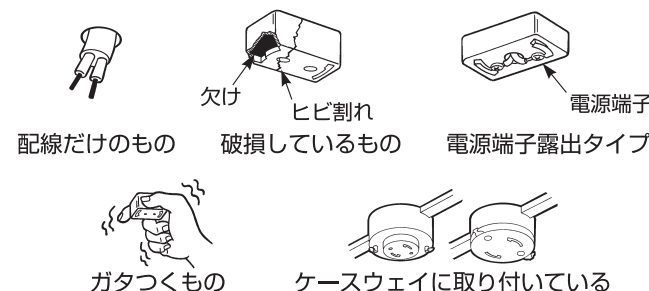
傾斜天井に取り付ける場合

傾斜角が0°～55°までの天井であること。

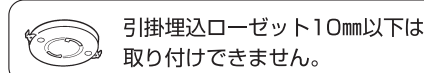
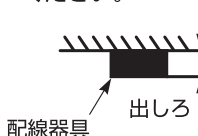


注) 55°を超える傾斜天井には取り付けできません。

下図の場合は、電気工事が販売店にご相談ください。



次の配線器具は、出しろを確認してください。



電気工事は電気工事士の資格が必要です。工事は必ず電気工事に依頼してください。

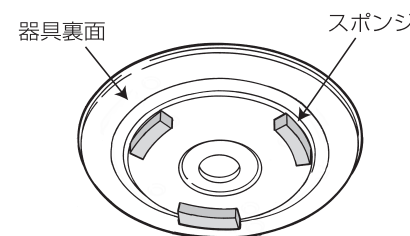
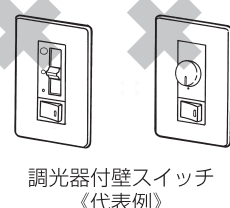
引掛シーリングはベニヤ板などの薄い天井材には取り付けないでください。器具が落下する恐れがあります。

取り付け上のご注意



注意

本器具を取り付ける電源回路(壁スイッチ等)に調光器やセンサースイッチが接続されている場合、LEDが正常に点灯しなかったり、器具が故障することがあり使用できません。接続されている場合は必ず調光器やセンサースイッチを取り除いてください。(交換工事は、電気工事に依頼してください。)



器具裏面についている黒いスポンジ(3コ)は、取り外さずにご使用ください。

感震センサ機能

感震センサに関するご注意

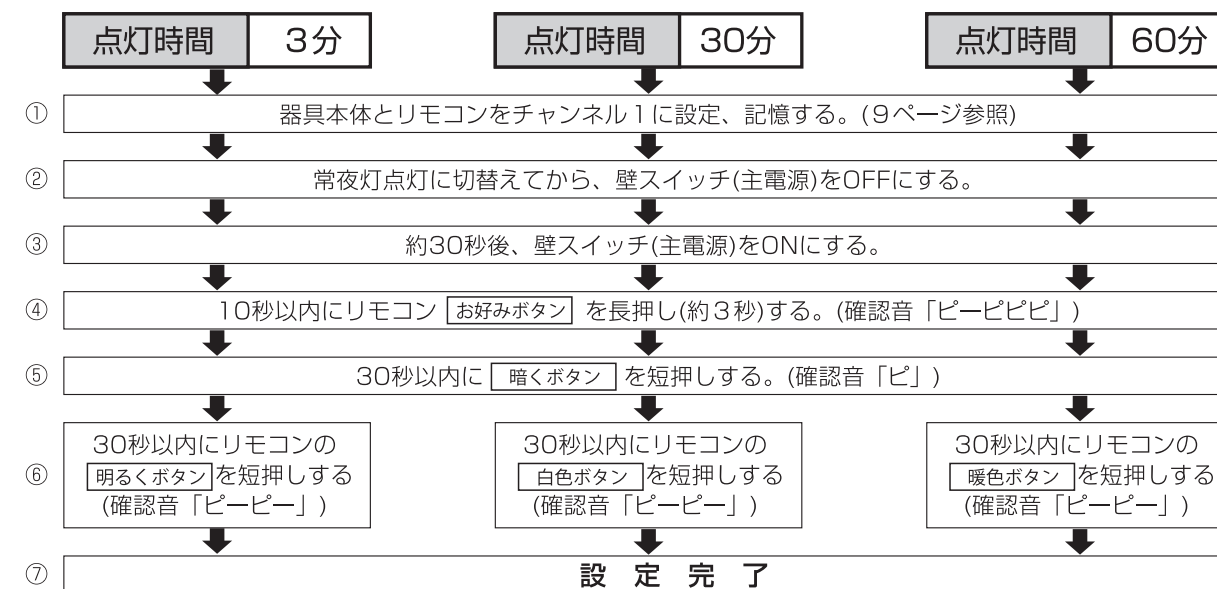
- 感震センサ動作中(待機時を除く)は、「留守タイマー」、「おやすみタイマー」は動作しません。
- 壁スイッチ(主電源)がONの状態ですぐの取り付け、取り外しを行うと、感震センサが動作し、点灯および電子アラーム音が鳴ることがあります。(故障ではありません。)
- 感震センサ動作中(待機時を除く)は、新たな揺れ、振動を感知しません。
- 感震センサの震度感知レベルと地震速報などで発表される震度は、必ずしも一致するものではありません。
- 感震センサは、十分な試験を実施していますが、100%動作を保証するものではありません。
- 感震センサは、被害を防止するものではありません。また被害に対する一切の責任および補償等は負いかねます。

震度感知レベルについて

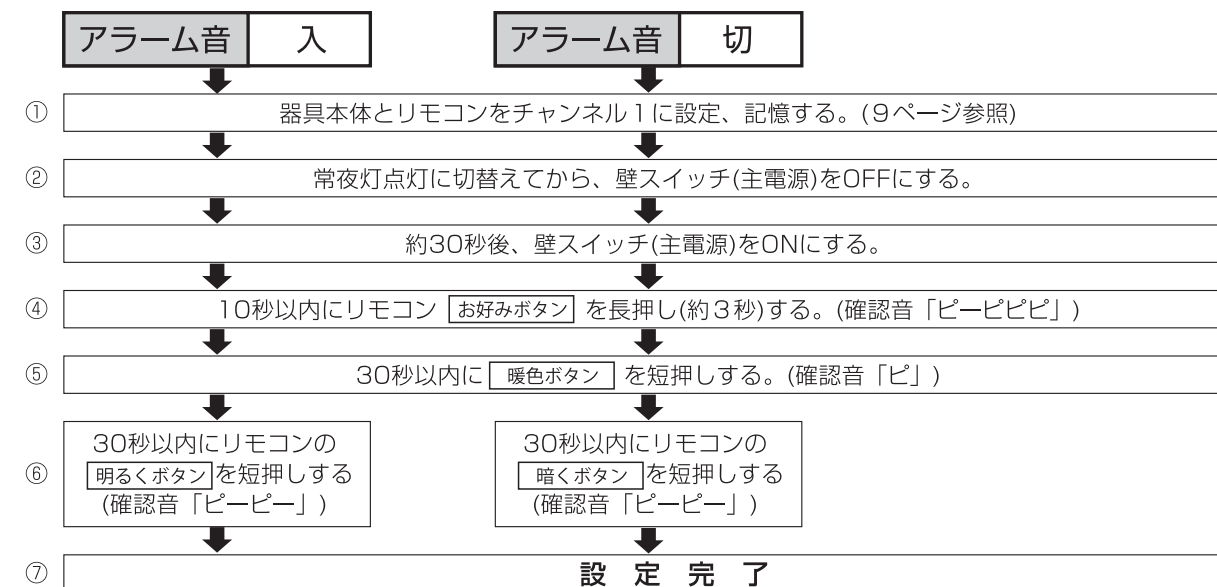
次のような場合、震度感知レベルを「強モード」にすることをお勧めします。

- 建物の構造によっては、地震速報などで発表される震度よりも弱い揺れを感知し、動作することがあります。
- 幹線道路や鉄道沿い、近隣の工事等による振動を感知し、動作することがあります。
- 取り付けした部屋や周辺、上の部屋で飛び跳ねたり、物を落とす等による振動を感知し、動作することがあります。
- 生活環境下の大きな音(声、楽器、テレビやステレオなどの家電製品、ペットの鳴き声、等)による振動を感知し、動作することがあります。

照明点灯時間(3段階)の設定方法



電子アラーム音「入／切」の設定方法



※照明点灯時間および電子アラーム音の設定は、壁スイッチ(主電源)をONにしてリモコンで操作してください。

※上記と異なる操作をした場合、エラー音「ピーー」が鳴り、設定は変更されません。

※チャンネル2では設定できません。

感震センサ機能

大きな揺れ、振動(震度4以上)を感知すると・・・
照明器具がアクティブ(昼光色)100%の明るさで点灯し、電子アラーム音が約30秒間鳴ります。
夜間等、もしもの時に備えてあかりを確保し、アラーム音でお知らせすることで、安心な暮らしをお届けできます。(出荷時設定：感震センサ「入」、震度感知レベル「標準モード」、照明点灯時間「30分」、電子アラーム音「入」)

注意 感震センサは、壁スイッチ(主電源)がONの状態では有効になります。
(壁スイッチ(主電源)がOFFの状態では動作しません。)

お客様のご使用環境に応じて、以下の設定ができます。

●感震センサ「入／切」と震度感知レベル(2段階)・・・(設定方法は10ページ)

感震センサの「入」、「切」と動作する震度感知レベルは「標準モード」、「強モード」を選択できます。

震度感知レベルの目安	「標準モード」：震度4以上 「強モード」：震度5強以上
------------	--------------------------------

●照明点灯時間(3段階)・・・(設定方法は11ページ)

感震センサ感知後の照明点灯時間は「3分」、「30分」、「60分」から選択できます。

●電子アラーム音の「入／切」・・・(設定方法は11ページ)

感震センサ感知後の電子アラーム音(約30秒間※)は「入」、「切」を選択できます。

※時間の変更はできません。

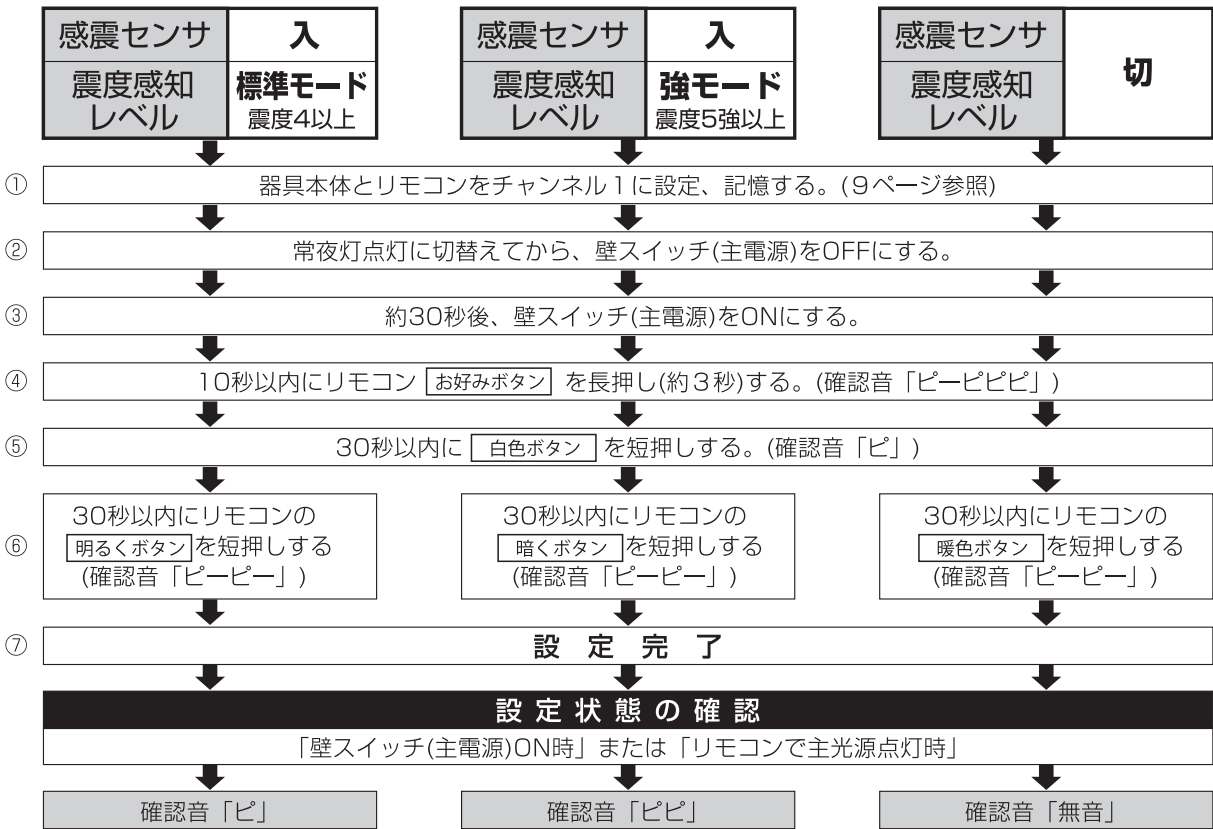


感震センサ感知後の点灯、電子アラーム音を停止する場合は、以下のいずれかの操作を行ってください。

- リモコン操作をすると電子アラーム音が停止して、感知前の点灯状態に戻ります。
- 壁スイッチ(主電源)を一旦OFFにして再度ONすると電子アラーム音が停止して、感知前の点灯状態に戻ります。

注) 留守中など感知後何も操作しない場合、照明は設定した点灯時間を経過すると感知前の点灯状態に戻ります。

感震センサ「入／切」と震度感知レベル「標準モード／強モード」の設定方法

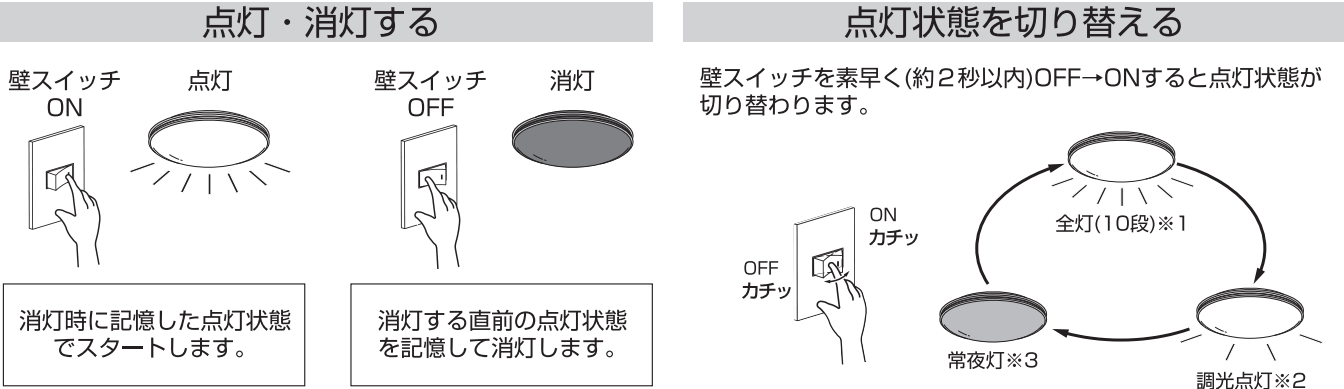


※感震センサと震度感知レベルの設定は、壁スイッチ(主電源)をONにしてリモコンで操作してください。

※上記と異なる操作をした場合、エラー音「ピーー」が鳴り、設定は変更されません。

※チャンネル2では設定できません。

壁スイッチコントロール機能 (壁スイッチで照明器具を操作したいとき)



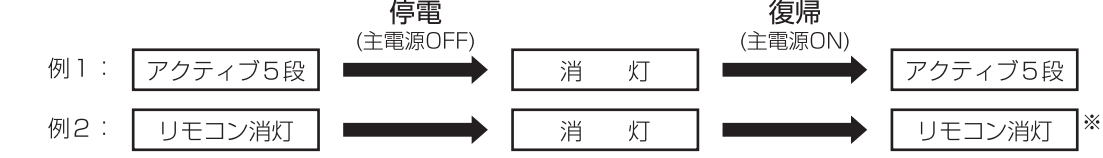
注意

- リモコンで消灯させた状態で壁スイッチをOFFにすると、次に壁スイッチをONした時は消灯状態となります。
- 壁スイッチをOFFにするとホタルックが自動点灯します。(約4～5分間)
- 壁スイッチでは点灯モード(色)を切り替えできません。

- ※1) 消灯、または常夜灯にする直前の点灯モード(色)
- ※2) 消灯、または常夜灯にする直前の点灯モード(色)と明るさ(明るさが全灯(10段)の場合は6段)
- ※3) 最後に使用していた明るさ

停電復帰機能

●停電復帰後は、停電(消灯)する直前の点灯状態に戻ります。



※リモコンで消灯させた状態で、停電した場合、停電復帰時は、消灯状態になります。

注) 落雷などによる短い停電(約2秒以内)が発生した場合、点灯状態が切り替わることがあります。

使用上のご注意

- 本体を分解したり、改造しないでください。火災や故障などの原因になります。
- 精密機器のため落下などの衝撃を加えないでください。
- 点灯中や消灯直後、カバー等のプラスチックの伸縮により、「ピシ・ピシ」、「ポッ・ポッ」という摩擦音が生じることがありますが、器具の故障ではありません。
- 本器具に添付のリモコン送信機は、当社リモコン照明器具専用です。他の家電製品には使用できません。また、他の家電製品のリモコン送信機は使用できません。
- 器具の近くでラジオや赤外線リモコン方式の電気機器を使用されますと、雑音が入ったり、リモコンを操作しても動作しない場合があります。
- 壁スイッチで電源を切った場合及び停電の場合は、リモコン送信機で操作しても動作しません。
- この器具はリモコンスイッチで消灯しても電源回路が約1.0Wの電力を消費しておりますので、節電のために長期外出時には壁スイッチを切ってください。
- リモコン送信機は器具に向けて操作してください。
※壁に取り付けたリモコンケースに入れた状態などで、リモコン操作を行うと動作しない場合があります。
- 3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見えることがあります。
- テレビを視聴している時は、リモコンが反応しにくい場合があります。
- 照明器具にリモコンの信号が届く範囲でご使用ください。
※リモコン送信機の周囲にしゃへい物がある場合、器具が動作しませんので、しゃへい物を取除いて再度ボタンを押してください。
- 天井や、壁、床の材質によってはリモコンが動作しづらいことがあります。
- おやすみタイマー機能、留守タイマー機能をご使用になる場合は、あらかじめリモコンで照明器具が操作できる距離を確認してからご使用ください。
- アルカリ乾電池(単4形)をご使用ください。
マンガン乾電池をご使用の場合は、電池の寿命が短くなる、送信距離が短くなる、液晶が表示されない場合があります。
- 電池寿命の目安(1日10回使用の場合)
アルカリ乾電池：約6ヶ月
(付属の電池はテスト用です。新しい乾電池に交換してください。)
- ニッカド電池などの充電式乾電池は使用できません。
- 乾電池は、+-の極性を正しく入れてください。
- 長期間リモコンを使用しない場合、乾電池の液漏れによる故障の原因となるので、乾電池を外してください。
- シンナー、ベンジンなどの揮発性のものやアルカリ系洗剤などを使用して本体を拭かないでください。
外郭強度の低下、変色、故障の原因になります。

器具の取付方法

器具の取り付けを行う際は、感電等の事故防止の為、必ず壁スイッチ(主電源)をOFFにして下さい。

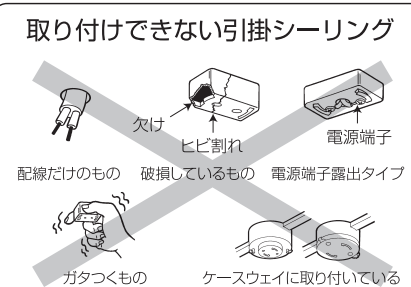
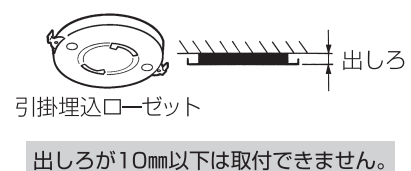
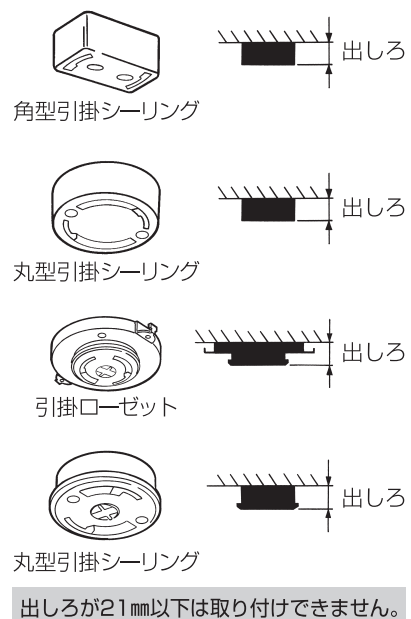
1. 天井の引掛シーリングを確認する

取り付け可能な引掛シーリング

- ・下図の引掛シーリングであれば取り付け可能です。
(ガタつきや破損がないことを確認してください。)

重要ポイント

引掛シーリングの形状によって取付方法が異なります。



必ず取り付け可能な引掛シーリングに交換して下さい。
交換には電気工事士の資格が必要です。
交換工事は必ず電気工事に依頼して下さい。

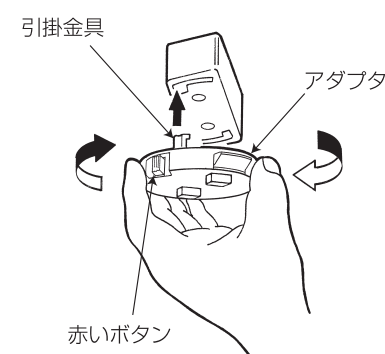
(引掛シーリングはベニヤ板などの薄い天井には取り付けしないで下さい。
器具が落下する恐れがあります。)

注意

壁スイッチ(主電源)がONの状態では器具を取り付けると感震センサが動作し、点灯および電子アラーム音が鳴ることがあります。(故障ではありません)

2. アダプタを取り付ける

アダプタの引掛金具を引掛シーリング挿入し、右(矢印方向)方向にカチッと音がするまでまわしてください。



重要ポイント

取り付け後、赤いボタンを押さずに左に回して、はずれないことを確認してください。

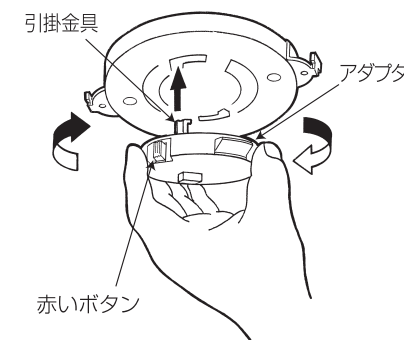
警告

落下のおそれあり

取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

2. アダプタを取り付ける

アダプタの引掛金具を引掛シーリング挿入し、右(矢印方向)方向にカチッと音がするまでまわしてください。



重要ポイント

取り付け後、赤いボタンを押さずに左に回して、はずれないことを確認してください。

警告

落下のおそれあり

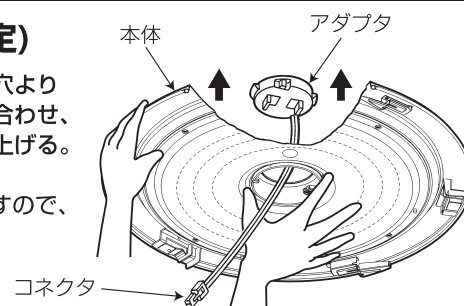
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

3. 本体を取り付ける

① 1段押上げ (仮固定)

コネクタを本体中央の丸穴より通し、アダプタに丸穴を合わせ、本体中央部を天井に押し上げる。

※本体は仮固定の状態ですので、グラついています。



警告

まだ本体の取り付けは不完全です。
この状態のまま使用すると、落下によるけがの原因となります。

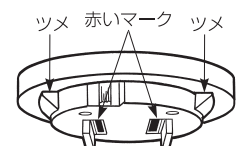
重要ポイント

② 2段押上げ (取付完了)

さらに強く押し上げる。

要チェック

- ① 本体中央部のアダプタの赤マーク(2ヶ所)が完全に見え、アダプタのツメ(2ヶ所)が完全に出ていることを確認する。
- ② 本体のグラつきがないことを確認する。

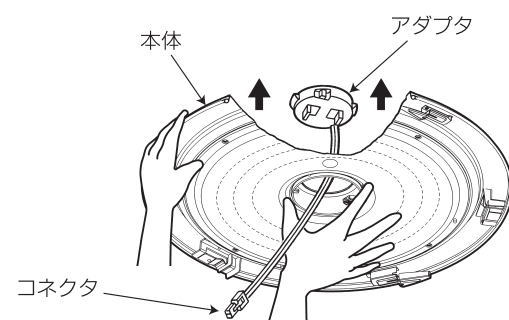


これで本体の取り付けは完了です。

3. 本体を取り付ける

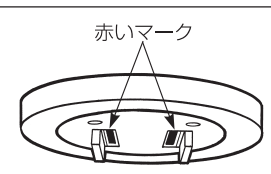
① 1段押上げ (取付完了)

コネクタを本体中央の丸穴より通し、アダプタに丸穴を合わせ、本体中央部を天井に押し上げる。



要チェック

- ① 本体中央部のアダプタの赤マーク(2ヶ所)が完全に見えていることを確認する。
- ② 本体のグラつきがないことを確認する。

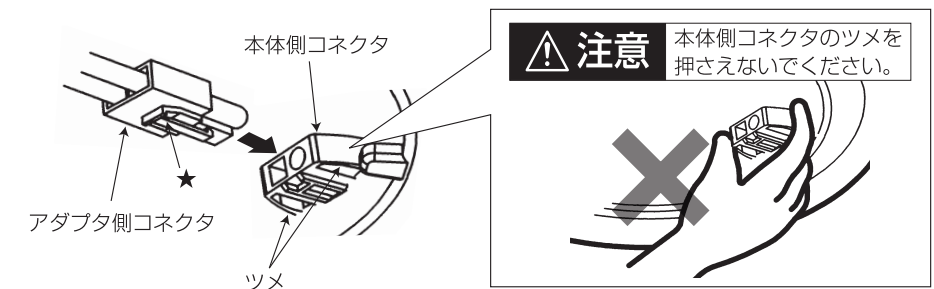


これで本体の取り付けは完了です。

4. 電源を接続する

アダプタ側コネクタを本体側コネクタに確実に差し込んでください。

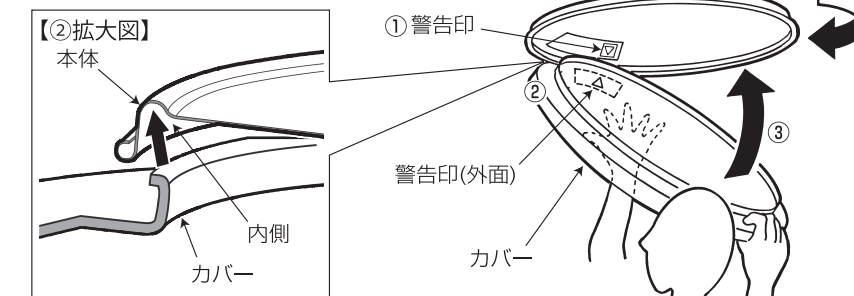
★の部分を押さずに、アダプタ側コネクタを引っ張り抜けないことを確認してください。



5. カバーを取り付ける

- ① 本体の警告印(△)にカバーの警告印(△)を合わせる。
- ② 本体の内側にカバーを合わせる。
- ③ カバーを水平に持ち上げて、本体に押し付けるように密着させる。
- ④ カバーを右(時計回り)にパチンとロック音がするまで回す。

※カバーを取付けずに点灯するのはおやめください。



警告

落下のおそれあり

取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。
カバーは無理に取り付けしないでください。カバーの割れ・落下によるけがの原因となります。

6. チャンネルを設定する (出荷時は、チャンネル1で設定、記憶されています。)

- 1: チャンネルを設定したい照明器具の壁スイッチ(主電源)をONにする。

- 2: 液晶リモコンのチャンネルを設定する。

- ① CH切替ボタンを3秒以上長押しして、使用するチャンネル(CH1またはCH2)を選択します。

- 3: 器具本体に液晶リモコンのチャンネルを記憶させる。

- ① 液晶リモコンの ON/OFFボタンを3秒以上長押しする。
(確認音「ピーピーピー」が鳴ります。)

- ② 5秒以内にもう一度、ON/OFFボタンを短押しする。
(確認音「ピーピー」が鳴って記憶完了です。)

注) 必ず液晶リモコンを器具に向けて操作してください。

- 4: 器具本体をリモコンで操作できれば 設定完了 です。

■ 2台の器具を別々に操作する場合 ■
(1つのリモコン送信機で2台の器具を別々に操作することができます。)

1台目の器具本体側チャンネルを「1」、
もう1台の器具本体側のチャンネルを「2」に合わせてください。
リモコンのチャンネルを操作したい方の器具のチャンネルに合わせ、器具を操作してください。

